

厚生労働省告示第 371 号の対応について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022 年 12 月 26 日、厚生労働省よりがん原性物質を定める告示が行われ、2023 年 4 月 1 日から適用されました。(厚生労働省告示第 371 号)

また、労働安全衛生規則等の一部が改正され、がん原性物質を取り扱う作業記録の作成およびその記録の 30 年間保存が、義務化されました。(労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 3 項)

つきましては、このたび定められたがん原性物質を含有する当社製品は以下のとおりとなりますので、ご案内いたします。

1. メース (押出成形セメント板)
2. フレキシブルボードN (繊維強化セメント板)
3. メースエポ (補修材)

該当製品については、安全データシート (SDS) の 15 項「適用法令」欄に「がん原性物質」を記載しております。案内の終わりに添付しました「SDS」をご確認のほど、お願いいたします。

なお、今後の原材料の情報更新や製品仕様の変更等によって最新の情報と異なる場合があり、随時更新する予定です。

ご不明な点は、各エリアの担当営業までお問い合わせください。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アイカテック建材株式会社 営業統括部

東京都練馬区豊玉北 6 丁目 5 番 15 号 アイカ東京ビル 2 階

TEL.03-5912-0742 FAX.03-5912-0750

ホームページ <https://www.aica-tech.co.jp/>

以上

作成日: 1994年 7月22日

改訂日: 2023年 4月26日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品の名称 メース

一般名 ECP (押出成形セメント板)

会社名 アイカテック建材株式会社

住所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6丁目5番15号 アイカ東京ビル2階

担当部門 品質保証・環境安全部

電話番号 03-5912-0741

FAX番号 03-5912-0750

2 危険有害性の要約

GHS分類: 混合物としての評価^{注)}

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過氧化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1 A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

注) GHS 分類のための情報、知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類できないとした

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 切断加工などで生じる粉じん吸入により遺伝性疾患のおそれの疑い

切断加工などで生じる粉じん吸入により発がんのおそれ

切断加工など生じる粉じんの長期または反復ばく露による臓器(呼吸器・免疫系、腎臓)の障害

(なお、切断加工などを行わず、据付け・組込み作業のみを行う場合には粉じんの発生はありません)

注意書き:

【安全対策】使用前に取扱い説明書(取説が無い場合:安全データシート等)を入手して下さい。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。

保護手袋、保護衣、保護めがねを着用して下さい。

必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けて下さい。

粉じんを吸入しないで下さい。

取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないで下さい。

取り扱い後はよく手を洗って下さい。

【応急措置】気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。

【保管】水濡れしないようにして下さい。

【廃棄】都道府県知事又は市長の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託をして下さい。

3 組成及び成分情報

化学物質、混合物の区別

化学名 :

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量(%)	労働安全衛生法 ¹⁾ 対象物	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) ²⁾	
					第一種	第二種
けい酸カルシウム	1344-95-2	1-194		非該当	非該当	非該当
ワラストナイト	13983-17-0	対象外		非該当	非該当	非該当
有機繊維	—	対象外		非該当	非該当	非該当
結晶質シリカ(石英)	14808-60-7	1-548	1~10	165-2	非該当	非該当

注) 主成分及び上記法律 1)2)の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

4 応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。

皮膚についた場合 : 付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流して下さい。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受けて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

眼に入った場合 : 異物感がなくなるまで清水で洗浄して下さい。眼をこすらないで下さい。目の刺激が持続する場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

誤飲した場合 : 口をすすいで下さい。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

5 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にありません。

6 漏出時の措置

・人体に対する注意事項

本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、呼吸用防護服を着用し、速やかに粉じんが飛散しないように清掃して下さい。

・環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意して下さい。

・封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を掃き集めて空容器や袋等に詰めて廃棄して下さい。

7 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

使用前にこの安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。

切断加工等を行う場合は、粉じんが発生するおそれがあるので、次の点に注意して下さい。

- ・呼吸用保護具を着用して下さい。
- ・電動工具を使用する場合は、局所排気装置・集じん装置を設置して下さい。
- ・作業衣等に付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除いて下さい。
- ・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行して下さい。

また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがあるので、作業時には湿潤化を推奨します。

[保管上の注意]

水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内保管として下さい。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 質量濃度（吸入性粉じん） $\cdots 3.0 / (1.19 \times Q + 1)$ mg/m^3

（Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率％）

許容濃度： 日本産業衛生学会(2019)許容濃度の勧告値：

第2種粉じん（結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性粉じん）

吸入性粉じん $\cdots 1 \text{ mg/m}^3$, 総粉じん $\cdots 4 \text{ mg/m}^3$

吸入性結晶質シリカ (遊離けい酸) ……0.03 mg/m³

ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による許容濃度 (2019) :

結晶質シリカ (遊離けい酸) … 0.025 mg/m³

設備対策: 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備えて下さい。

保護具 :

・呼吸用保護具

切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用して下さい。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもかまいませんが、必ず国家検定合格品を使用して下さい。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行って下さい。

・保護めがね

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用して下さい。

・手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにして下さい。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	: 個体、板状
色	: 白色～灰色
引火点	: 非引火性
自然発火点	: なし
素材比重	: 1.7～2.0

10 安定性及び反応性

通常の保管および取扱いの条件においては、安定である。

11 有害性情報

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類できない

急性毒性 (吸入: ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	水に濡れた状態で長時間触れると皮膚が荒れることがあるが、データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	物理的刺激性はあるがデータ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分2」を1.0%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分2とした
発がん性	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分1A」を0.1%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1Aとした
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分1」を1~10%含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1とした
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

[その他成分の情報]

- ・ワラストナイトの情報

発がん性: IARC発がん性グループ3 (ヒトに対する発がん性については分類できない)

- ・結晶質シリカの情報

急性毒性: なし

発がん性: IARC発がん性グループ1 (ヒトに対して発がん性がある。)

慢性毒性: 長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。

その他: 短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある。

1.2 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性): 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性): データ不足のため分類できない

1.3 廃棄上の注意

廃棄する場合は、周辺環境中に粉じんが飛散しないように注意して下さい。

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物となり、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づき適切に処理して下さい。

1.4 輸送上の注意

輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意して下さい。

国連分類: 該当なし

国連番号: 該当なし

1.5 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質 結晶質シリカ(石英)
粉じん障害防止規則	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(粉じん則別表1の6号)
じん肺法	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(じん肺法施行規則別表6号)
毒物及び劇物取締法	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	適用なし

注) 本製品は労働安全衛生法 表示対象物 結晶質シリカ(石英)を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

1.6 その他の情報

[参考文献]

- 1) 労働省告示第79号: 作業環境評価基準(平成27年9月30日改訂)
- 2) 許容濃度等の勧告(2019年度)日本産業衛生学会(2019.5.22): 産衛誌61巻,2019
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第7版): (社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム: 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) JIS Z 7253: 2019 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS))
- 6) ACGIH(米国産業衛生専門会議) Table of exposure limits for chemical and biological substances (2019)

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

以上

作成日: 2016年 1月 6日

改訂日: 2023年 5月26日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品の名称 フレキシブルボードN

一般名 繊維強化セメント平板

会社名 アイカテック建材株式会社

住所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6丁目5番15号 アイカ東京ビル2階

担当部門 品質保証・環境安全部

電話番号 03-5912-0741

FAX番号 03-5912-0750

2 危険有害性の要約

GHS分類: 混合物としての評価^{注)}

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過氧化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1 A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

注) GHS 分類のための情報、知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類できないとした

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 切断加工などで生じる粉じん吸入により遺伝性疾患のおそれの疑い

切断加工などで生じる粉じん吸入により発がんのおそれ

切断加工など生じる粉じんの長期または反復ばく露による臓器(呼吸器・免疫系、腎臓)の障害

(なお、切断加工などを行わず、据付け・組込み作業のみを行う場合には粉じんの発生はありません)

注意書き:

【安全対策】使用前に取扱い説明書 (取説が無い場合: 安全データシート等) を入手して下さい。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。

保護手袋、保護衣、保護めがねを着用して下さい。

必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けて下さい。

粉じんを吸入しないで下さい。

取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないで下さい。

取り扱い後はよく手を洗って下さい。

【応急措置】 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。

【保管】 水濡れしないようにして下さい。

【廃棄】 都道府県知事又は市長の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託をして下さい。

3 組成及び成分情報

化学物質、混合物の区別

化学名 :

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量(%)	労働安全衛生法 ¹⁾ 対象物	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PTR法) ²⁾	
					第一種	第二種
有機繊維	—	対象外		非該当	非該当	非該当
結晶質シリカ(石英)	14808-60-7	1-548	1~10	165-2	非該当	非該当

注) 主成分及び上記法律 1)2) の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

4 応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。

皮膚についた場合 : 付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流して下さい。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受けて下さい。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

眼に入った場合 : 異物感がなくなるまで清水で洗浄して下さい。眼をこすらないで下さい。目の刺激が持続する場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

誤飲した場合 : 口をすすいで下さい。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

5 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にありません。

6 漏出時の措置

・人体に対する注意事項

本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、呼吸用防護服を着用し、速やかに粉じんが飛散しないように清掃して下さい。

・環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意して下さい。

・封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を掃き集めて空容器や袋等に詰めて廃棄して下さい。

7 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

使用前にこの安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。

切断加工等を行う場合は、粉じんが発生するおそれがあるので、次の点に注意して下さい。

- ・呼吸用保護具を着用して下さい。
- ・電動工具を使用する場合は、局所排気装置・集じん装置を設置して下さい。
- ・作業衣等に付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除いて下さい。
- ・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行して下さい。

また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがあるので、作業時には湿潤化を推奨します。

[保管上の注意]

水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内保管として下さい。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 質量濃度（吸入性粉じん） $\cdots 3.0 / (1.19 \times Q + 1)$ mg/m³

（Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率％）

許容濃度： 日本産業衛生学会(2019)許容濃度の勧告値：

第2種粉じん（結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性粉じん）

吸入性粉じん $\cdots 1$ mg/m³, 総粉じん $\cdots 4$ mg/m³

吸入性結晶質シリカ（遊離けい酸） $\cdots 0.03$ mg/m³

ACGIH（米国産業衛生専門家会議）による許容濃度（2019）：

結晶質シリカ（遊離けい酸） $\cdots 0.025$ mg/m³

設備対策： 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備えて下さい。

保護具 :

・呼吸用保護具

切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用して下さい。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもかまいませんが、必ず国家検定合格品を使用して下さい。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行って下さい。

・保護めがね

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用して下さい。

・手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにして下さい。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	: 個体、板状
色	: 白色～灰色
引火点	: 非引火性
自然発火点	: なし
かさ密度	: 約 1.7g/cm ³

10 安定性及び反応性

通常の保管および取扱いの条件においては、安定である。

11 有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	水に濡れた状態で長時間触れると皮膚が荒れることがあるが、データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	物理的刺激はあるがデータ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分2」を1.0%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分2とした
発がん性	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分1A」を0.1%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1Aとした
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	「結晶質シリカ(石英)GHS分類区分1」を1~10%含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1とした
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

[その他成分の情報]

・結晶質シリカの情報

急性毒性: なし

発がん性: IARC発がん性グループ1(ヒトに対して発がん性がある。)

慢性毒性: 長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。

その他: 短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある。

1.2 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性): データ不足のため分類できない

1.3 廃棄上の注意

廃棄する場合は、周辺環境中に粉じんが飛散しないように注意して下さい。

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物となり、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づき適切に処理して下さい。

1.4 輸送上の注意

輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意して下さい。

国連分類: 該当なし

国連番号: 該当なし

1.5 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質 結晶質シリカ(石英)
粉じん障害防止規則	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(粉じん則別表1の6号)
じん肺法	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(じん肺法施行規則別表6号)
毒物及び劇物取締法	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	適用なし

注) 本製品は労働安全衛生法 表示対象物 結晶質シリカ(石英)を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

1.6 その他の情報

[参考文献]

- 1) 労働省告示第79号: 作業環境評価基準(平成27年9月30日改訂)
- 2) 許容濃度等の勧告(2019年度)日本産業衛生学会(2019.5.22): 産衛誌 61巻, 2019
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第7版): (社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム: 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) JIS Z 7253: 2019 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS))
- 6) ACGIH(米国産業衛生専門会議) Table of exposure limits for chemical and biological substances (2019)

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

以上

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

[供給者] 会社 アイカ工業株式会社
 住所 愛知県あま市上萱津深見24番地
 担当部門 化成品カンパニー 品質管理グループ
 電話番号 052-443-4811 FAX番号 052-443-4825
 緊急連絡先 担当部門に同じ

整理番号: DJB-0359A-2 改訂日 2021年 5月 31日
 作成日 2016年 9月 9日

化学品の名称 メースエポ 主剤
 (化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類:
 可燃性固体 区分に該当しない
 急性毒性(経皮) 区分に該当しない
 皮膚腐食性/刺激性 区分2
 皮膚感作性 区分1
 発がん性 区分1A
 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3
 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1
 水生環境有害性 短期(急性) 区分2
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語 危険

・危険有害性情報

皮膚刺激
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 発がんのおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
 長期または反復暴露による臓器の障害(呼吸器)
 水生生物に毒性
 長期継続的影響により水生生物に毒性

・注意事項(GHS対応表記)

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
 取扱後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 緊急時を除き、環境への放出を避けること。

救急措置

保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
 特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
 漏出物を回収すること。
 保管 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 施錠して保管すること。
 廃棄 内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 化学名又は一般名： エポキシ樹脂系接着剤
 成分及び含有量：

成分名	含有率 (%)	C A S No.	化審法
エポキシ樹脂等	100		
内：ビスフェノールF型エポキシ樹脂（液状）	25～35	54208-63-8	既存
酸化チタン(IV)	1～3	13463-67-7	既存
シリカ	1未満	7631-86-9	既存

4. 応急措置

- 目に入った場合： ・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： ・付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。
 ・かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
 吸入した場合： ・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合： ・多量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法： ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
 消火剤： 水 [] , 二酸化炭素 [○] , 泡 [○] , 粉末 [○] , 乾燥砂 [] その他 ()
 使ってはならない 水
 消火剤：

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
 保護具および緊急措置： ・保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を着用して作業する。
 環境に対する注意事項： ・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
 ・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
 封じ込め及び浄化の方法
 及び機材： ・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
 ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。
 ・流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： ・火気厳禁。炎、火花、高温体との接触、その他点火源となる恐れのある機械等の使用を禁止する。
 ・取扱いは換気の良い場所で行ない、状況によって保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を使用する。取扱い後は、手洗いを充分に行なう。
 保管： ・容器を密閉し、冷暗所に保管する。
 ・その他、電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定める所に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

成分名	管理濃度
-----	------

設備対策：	蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
保護具：	呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。 保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。 保護手袋：PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。 保護衣：長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	パテ状
色：	薄灰白色
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	約145℃
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に難溶
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	約0.75
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の手扱い条件では反応性はない。
化学的安定性：	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性：	通常の手扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	高温、火気、スパーク。
混触危険物質：	アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物：	知見なし。

11. 有害性情報

[GHS分類] 急性毒性：	経口：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 経皮：混合物の急性毒性推定値は2000mg/kg以上。 気体：本製品は常温で固体のため分類対象外。 蒸気：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 粉じんおよびミスト：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	混合物の、皮膚腐食性区分2に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分2に相当。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：	混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感作性：	混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感作性：	混合物中の、皮膚感作性区分1に該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1に相当。
生殖細胞変異原性：	混合物の生殖細胞変異原性データが不十分のため、分類できない。
発がん性：	混合物の、発がん性区分1Aに該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1Aに相当。
生殖毒性：	混合物の生殖毒性データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	混合物の、特定標的臓器毒性区分3（気道刺激性）に該当する成分濃度が20%以上あるため、区分3（気道刺激性）に相当。
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	混合物の、特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。
誤えん有害性：	混合物の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。

刺激性（皮膚，眼）：
 ・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長期間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。
 ・蒸気は呼吸器、眼に刺激性である。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。

成分の急性毒性：

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種
-----	-----------------	-----

12. 環境影響情報

[GHS分類]

水生環境有害性 短期（急性）：
 混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分2に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分2に相当。

水生環境有害性 長期（慢性）：
 混合物の、水生環境有害性 長期（慢性）区分2に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分2に相当。

生態毒性：
 製品中データなし。
 残留性・分解性：
 データなし。
 生体蓄積性：
 データなし。
 土壌中の移動性：
 データなし。
 オゾン層への有害性：
 モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。

汚染容器・包装：
 残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号：
 3077
 品名：
 環境有害物質（固体）
 国連分類：
 9
 容器等級：
 ー

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
 その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
 容器に漏れのない事確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に言う。

15. 適用法令

消防法：
 指定可燃物 可燃性固体類
 毒物劇物取締法：
 非該当
 労働安全衛生法：
 [表示対象物質] 酸化チタン（IV）、シリカ
 [通知対象物質] 酸化チタン（IV）、シリカ
 [特化則] 非該当
 [有機則] 非該当
 P R T R法：
 [第1種指定化学物質] 非該当
 [第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

- | | |
|--|------------|
| ・ 14102の化学商品 | 化学工業日報社 |
| ・ 化学物質の危険，有害便覧 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成手法の研修テキスト（改訂版） | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針 | 日本化学工業協会 |
| ・ エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き | エポキシ樹脂技術協会 |
-